

笛吹市・芦川村合併協議会だより

No.1

● 合併協議会委員・監事 ●

◎会長 ○副会長 敬称略

市村名	職名	氏名
笛吹市	市長	◎ 荻野 正直
〃	議長	龍澤 敦
〃	職員代表	小宮山 文明
〃	〃	望月 健二
〃	議会代表	中村 善次
〃	〃	井上 一巳
〃	〃	志村 勢喜
〃	住民代表	鈴木 貞夫
〃	〃	吉原 五鈴子
〃	〃	内藤 秀人
芦川村	村長	○ 野沢 今朝幸
〃	議長	野澤 一男

芦川村	職員代表	中村 長年
〃	〃	五味 善英
〃	議会代表	霜村 千代晴
〃	〃	宮川 正夫
〃	〃	藤本 芳政
〃	住民代表	宮川 武久
〃	〃	芦澤 今朝光
〃	〃	野澤 茂子
笛吹市	監事	金井 豊明
芦川村	〃	梶原 吉男

● 合併協議会 幹事会 ●

◎幹事長 ○副幹事長

市村名	職名	氏名
笛吹市	助役	◎ 小宮山 文明
〃	〃	望月 健二

笛吹市	収入役	羽中田 弘巳
〃	総務部長	石川 光次
芦川村	助役	○ 中村 長年
〃	教育長	五味 善英
〃	総務経営課長	原 百枝

● 合併協議会 事務局職員 ●

市村名	職名	氏名
笛吹市	事務局長	保坂 利定
〃	事務局次長	内藤 文子
〃	事務局員	成島 敦志
〃	〃	茂手木 昭博
〃	〃	早川 郁
芦川村	〃	霜村 直人
〃	臨時職員	堀 早織

私の故郷 あしがわむら



原 瑛一さん
(石和町在住)

「ごみのない芦川にしたい」

上芦川から昭和47年に石和に来て、温泉旅館を買い取り営業をはじめました。高度経済成長期からバブル絶頂期を経て、今旅行の形態が従来の団体旅行から個人または少人数グループへ、一泊宴会型から体験型へと変わってきています。

ストレスで疲れた首都圏の皆さんに、石和温泉からわずか20分、癒しの里芦川村で、水と空気と緑のシャワーに包まれながら、ゆったりとした時間のなかでリフレッシュして頂きたいと思います。



中村 信恵さん
(春日居町在住)

「年寄りどうし支えあって仲良く」

上芦川出身です、昭和54年に結婚して、今春日居町鎮目に夫、母、長女、次女の5人家族で住んでいます。

芦川村の実家には、両親が健在でおりますので、ときどき顔を見せに行っています。昔は日本中どこでもそうだったように、芦川村のひとたちは、隣近所の心のふれあいの密度がとても深く、親戚以上のつきあいをしています。お互いに協力し、助け合いながら生活する環境は不便さのいっぽうで人情の機微を醸成してくれますね。



芦沢 幸男さん
(石和町在住)

「芦川村の景観は笛吹市の宝」

中芦川出身です、昔は交通が不便でしたので中学を卒業すると、みんな甲府や石和などに住んで学校に通いました。

子供の頃から御坂、八代はお隣さん感覚だったので笛吹市と合併になってうれしいです。芦川村は仕事をするには不便なところだけど、のんびりするにはとてもいい年をとったらまた芦川に住みたいと思っています。

個人的な夢だけど、昭和30年代の村づくりをしたらどうか、トンネルを抜けると、昭和30年代にタイムスリップ「歴史特区」なんていかがでしょう。



躍動するふれあい文化都市 笛吹市



すずらん香る清流の里 芦川村



協議会の看板を掲げる両市村の首長と議長
(左から野澤一男芦川村議長・野沢今朝幸芦川村長・荻野正直笛吹市長・龍澤敦笛吹市議長)

合併協議会を設置 —市役所内へ事務所を開設—

笛吹市と芦川村は合併協議を行うため、平成18年1月1日「笛吹市・芦川村合併協議会」を設置し、笛吹市役所内に合併協議会事務所を開設しました。

ごあいさつ



笛吹市・芦川村合併協議会
会長 荻野 正直

全国でも有数の温泉郷と生産量日本一を誇る桃・ぶどうの果樹産地である笛吹市と、みどり豊かな森林を抱え、自然に恵まれた地域である芦川村は、歴史的なつながりや生活上のつながりも強く、これまでも広域圏として行政運営や住民サービスを共に行ってきました。

合併協議会では、住民の皆様がよりよい生活のできる環境を模索し、新市誕生を目指して、27項目にわたる合併協定項目の協議を行うとともに、新市基本計画などを策定して住民の皆様にお示ししていくこととなります。

平成18年8月1日の合併を見据えた中で、21世紀の理想に沿った新しい地方自治体として、新笛吹市の誕生が実現できるよう、皆様方の英知を結集してこの合併問題を真剣に捉え、合併協議に取り組んでまいりたいと考えておりますので、住民の皆様のご理解、ご協力を心からお願い申し上げます。

任意協議会設置までの経過

平成17年3月7日	芦川村から合併協議会設立に関する要望書の提出。
平成17年5月20日	笛吹市長が、芦川村との合併について笛吹市各地域審議会へ諮問。
平成17年8月~11月	各地域審議会から、協議に入ることにについて「進めるべき」「異議なし」との答申。
平成17年11月17日	笛吹市議会合併問題研究会において、芦川村と合併協議に入ることを確認。
平成17年11月25日	笛吹市議会全員協議会において、芦川村と合併協議に入ることで意見集約。
平成17年12月2日	笛吹市長、笛吹市議会議長の署名による「芦川村との合併協議について」、芦川村に提出。
平成17年12月9日	山梨県知事に笛吹市長、芦川村長及び笛吹市、芦川村両議会議長が経過及び今後の予定について報告。
平成17年12月19日	笛吹市長及び芦川村長が「笛吹市・芦川村合併協議会が新たに設置する任意協議会の事務所、事務局に関する協議書」に署名。
平成18年1月4日	両市村の首長と議長が「笛吹市・芦川村合併協議会の設置に関する協議書」に署名。 協議会事務局を笛吹市役所内に開設。
平成18年1月18日	第1回幹事会開催。
平成18年1月24日	第1回合併協議会開催。両市村の議会や住民の代表ら20名に委嘱状を交付。 協定項目27項目が承認され、合併の方式・合併の期日・新市の名称・新市の事務所の位置が決定。

合併に関する協定項目について

1	合併の方式
2	合併の期日
3	新市の名称
4	新市の事務所の位置
5	財産の取扱い
6	町名・字名の取扱い
7	事務組織及び機構の取扱い
8	条例・規則等の取扱い
9	地域審議会の取扱い
10	議会議員の定数及び任期の取扱い
11	農業委員会の委員の定数及び任期の取扱い
12	地方税の取扱い
13	一般職員の身分の取扱い
14	特別職及び付属機関の委員等の身分の取扱い
15	公共的団体の取扱い
16	消防団の取扱い
17	使用料及び手数料の取扱い
18	補助金・交付金等の取扱い
19	財産区の取扱い
20	公営住宅の取扱い
21	上水道(簡易水道)の取扱い
22	下水道(農業集落排水)の取扱い
23	国民健康保険の取扱い
24	介護保険の取扱い
25	福祉の取扱い
26	学校教育の取扱い
27	新市基本計画の取扱い

●合併協議会とは？

合併協議会には、地域の将来のあり方について検討しようという考えで集まった任意の合併協議会と、合併について、より踏み込んだ内容を検討協議するため、市町村の合併の特例等に関する法律や地方自治法の規定により、議会の議決を経て設置する法定の合併協議会があります。

合併協議会では、地域の課題や両市村がそれぞれ行っている各種業務のすり合わせ、新笛吹市基本計画などについて協議を行っていきます。

第1回合併協議会で合併基本4項目を決定

平成18年1月1日、笛吹市と芦川村の合併について協議する為、任意の「笛吹市・芦川村合併協議会」が設置されました。1月24日開催された第1回合併協議会では、両市村の議会や住民の代表ら20名の委員に委嘱状が交付されました。また、協定項目27項目が承認され、合併の方式・合併の期日・新市の名称・新市の事務所の位置が決定しました。



協議中の様子

「合併基本4項目」

1. 合併の方式……………東八代郡芦川村を廃し、その区域を笛吹市に編入する編入合併とする。
2. 合併の期日……………合併目標期日を平成18年8月1日とする。
3. 新市の名称……………新市の名称は、笛吹市とする。
4. 新市の事務所の位置……………新市の事務所の位置は当分の間、暫定的に笛吹市石和町市部777番地とする。
現在の芦川村役場の位置に支所を置くものとする。



	笛吹市	芦川村
キャッチフレーズ	躍動するふれあい文化都市	すずらん香る清流の里
人口(外国人登録を含む)	72,505人	552人
世帯数※1	25,579世帯	243世帯
高齢化率※1	20.74%	52.09%
第1次産業就業率※2	20.8%	33.5%
第2次産業就業率※2	24.8%	33.8%
第3次産業就業率※2	54.4%	35.7%
面積	164.77km ²	37.15km ²
普通会計歳入歳出予算額※3	26,322百万円	857百万円
起債制限比率※4	7.5%	1.4%
公債費負担率※4	12.2%	17.4%
経常収支比率※4	80.9%	105.3%
財政力指数※4	0.543	0.072

※1 平成18年1月1日現在(住民基本台帳人口による) ※2 平成12年国勢調査
※3 平成17年度当初予算 ※4 平成16年度地方財政状況調査

3月1日法定協議会に移行

笛吹市と芦川村の合併に関し、新笛吹市基本計画など具体的な協議を行うため、2月21日に開催された両市村臨時議会において、地方自治法に定められた協議会(法定協議会)の設置が可決されました。法定協議会への移行は3月1日からで、第1回法定協議会において基本計画などが協議されます。